

青森明の星短期大学子ども福祉未来学科 特別講座

保育者を目指すみなさんへ

一般社団法人青森県保育連合会

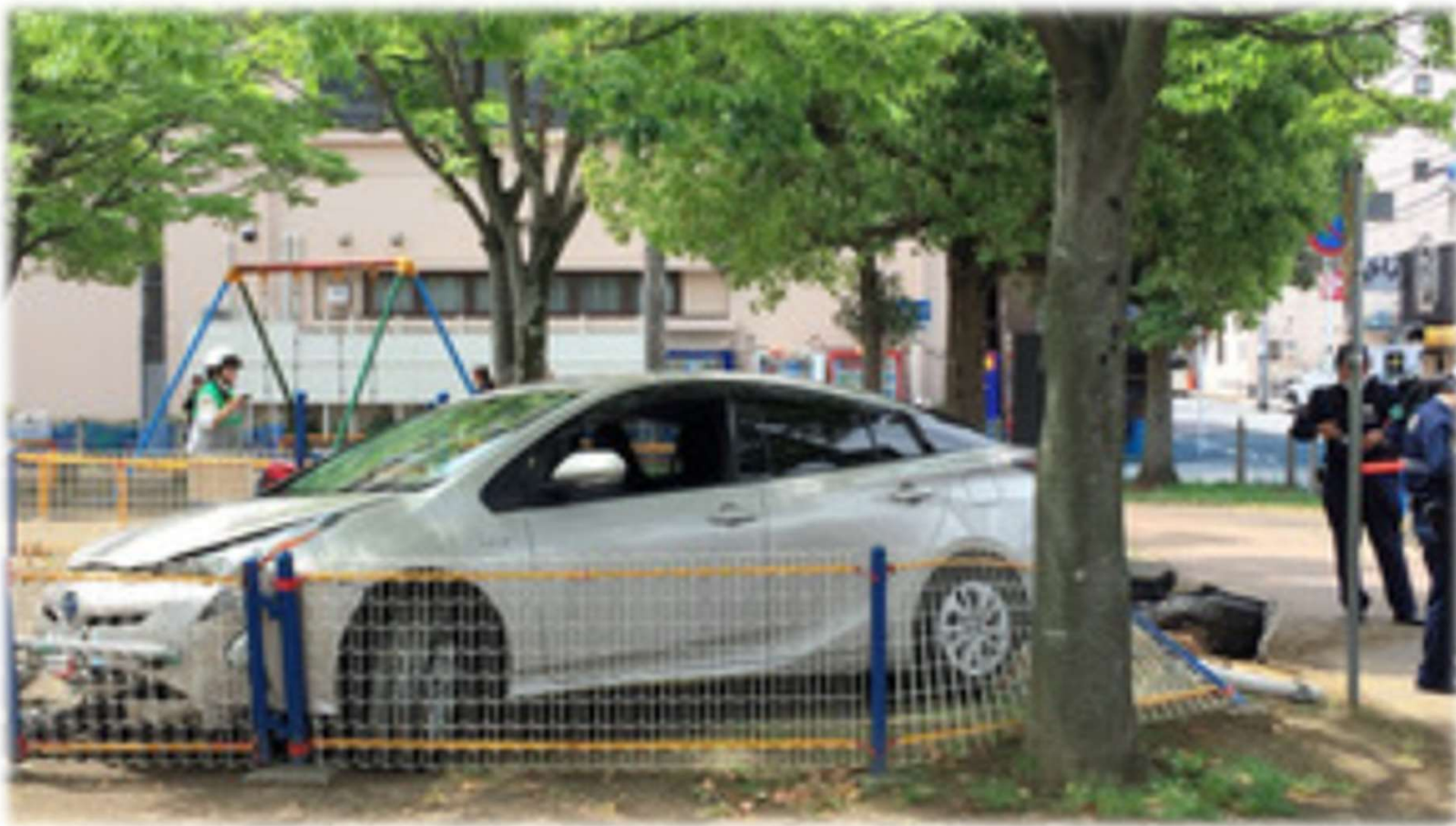
会長 渡邊建道

(社会福祉法人あおもり愛育会みどりの風こども園ひろた 園長)

園児の列に車突っ込み、2歳の保育園児2人死亡

5月8日 10時15分頃発生





公園に車突っ込み、保育士が骨折

5月15日 10時25分頃発生



「#保育士さんありがとう」広がる

5月8日以降続々と

はじめに 保育者になろうと思った理由

- **どうして保育者を目指そうと思ったのでしょうか？**

子どもが大好きだから、小さな頃からの夢だったから、親が保育者だから、幼少期の保育士の先生に影響を受けたから、資格を活かせる仕事だから、命と健康を守る重要な仕事だから、人生の根っこの時期を育てる仕事だから、楽しい仕事・職場だと思うから、親の就労を支える社会に必要な仕事だから、給料が良さそうだから などなど

- **理由はいろいろでOK**

理由は1つでなくても、人それぞれ違っていても、ちょっとだけ考えてみませんか？



1 保育の仕事ってなあに

- 保育、ほいく、ホイクというけれど「保育」って何？
「保育」は、**1870年頃**から主に幼稚園（幼児教育）で使われてきた
幼児教育の前提には常に「保護」が必要 → **保護 + 教育 = 保育**
学校教育法「（幼稚園は）**幼児を保育し…**」
託児所や保育所が保育という言葉を使うことを**幼稚園が猛反対**
保育所保育指針、児童福祉法 → **養護 + 教育 = 保育**
養護 → 生命の保持及び情緒の安定を図るための援助や関わり
教育 → 子どもの成長と活動がより豊かに展開されるための発達の援助
家庭養育とは全く違う【専門性・計画性・集団と個の二面性など】
- 幼稚園、保育所、認定こども園…
機能や内容に大差ないようになってきている



2 保育（幼児教育）を行う施設

	保育所	幼稚園	認定こども園
管轄省庁	厚生労働省	文部科学省	内閣府
根拠法	児童福祉法	学校教育法	認定こども園法
対象となる子ども	保育を必要とする乳幼児	教育を必要とする幼児	保育を必要とする乳幼児及び教育を必要とする幼児
標準的な保育時間	8～11時間 ※延長保育	4～6時間 ※預かり保育	8～11時間 or 4～6時間 ※延長保育・一時預かり
必要な資格・免許	保育士資格	幼稚園教諭免許	保育士資格・幼稚園教諭免許 (※幼保連携型)
保育者の職名	保育士	幼稚園教諭	保育教諭 (※幼保連携型)
県内にある数	約200か所	約90か所	約280か所

3 保育の現場、あるある

- 子ども

発達障害（アスペルガー、ADHDなど）、食物アレルギー、偏食、睡眠不足、低体温・低血圧、生活・自然体験不足、おむつがとれない年長児など

- 保護者

SNS（動画・画像の投稿、グループLINEなど）、スマホ・YouTubeによる育児、いわゆるモンスターP、喫煙ママ・うつ・失職・不倫・DV・虐待等の急増、超自己チュー、若い祖父母（無関心や過干渉も）など

- 保育者

一生懸命な人・優しい人・明るい人がいっぱい
…その一方で「残念な人」も…



4-1 保育の現場が変わってきた

- ・ 保育・教育の内容の統一化

保育所が「幼児教育を行う施設」として初めて明記（保育所保育指針）

- ・ 障害児への支援が進む

いわゆる「気になる子」（発達障害児）の早期発見・早期支援を市町村に義務化

- ・ 幼児教育と保育の無償化（10月～）

少子化対策、人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性・必要性の認識の高まり

- ・ 国主導で進む処遇改善と職員育成

保育職の賃金処遇の改善（民間企業との格差是正、保育者不足問題の解消）

職場での将来像を思い描けるキャリアパスの構築、キャリアアップ研修を義務化

4-2 保育の現場が変わってきた

・ 職場環境の改善

副主任や各種リーダーなどのキャリアパスの構築、賃金改善や手当の創設などにより、**少しずつ経営者の方針や保育職の意識が変わってきた**

→ 人が大事にされ、辞めずに、育っていく環境へ

→ 保育者同士が夢や目標を共有し、学び合い、支え合っていく状況へ

・ でも、まだまだ道半ば

保育は「人が、人を、人にしていく仕事」。この「人」がなかなかの難敵なのだ

→ 子どもは摩訶不思議な存在。何年、何十年、向き合ってもワカラナイ…

→ 保護者も同様。実にさまざま

→ 保育者も「人」。家庭もある、自由な時間も欲しい、得手・不得手もある

子どもが減っていく不安（経営者も、保育者も、地域も）

5 保育者に求められる資質・能力

・ 資質・能力って何？

資質…人が持って生まれた「天性」「素質」

経験によって磨かれていくもの

能力…物事をやり遂げたり解決したりする力や可能性

経験によって得られ、伸びていくもの



・ 5つの資質・能力

- ① 子どもが好きなこと
- ② 人との関わりを大切にできること
- ③ 何事にも前向きに受止められること
- ④ 約束を守り、嘘をつかないこと
- ⑤ 好奇心旺盛なこと

ピアノが苦手…話し下手…
ちょっと内気…体力に自信がない…

これらは全て「個性」です。
組織はみんなで不足を補い合っこそ
成立するものなので心配無用

6 どんな言葉をかけてあげますか？

- 廊下を猛ダッシュで走っているAくん（5歳）へ



- 苦手なピーマンと睨めっこ中のBくん（4歳）へ



▪ 玄関でママ～と泣き続けているCちゃん（3歳）へ



▪ なかなか泣き止まないDちゃん（0歳）へ



* 保育者がどんな言葉を選んでどんなふうには話してあげるかは、その子の人生にとっても大きな影響を及ぼす

* 貯金箱に1円玉をたくさん詰め込んでも大した額にはならない。100円やときに500円を入れてこそ「学費」が貯えられる

（『3000万語の格差 赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ』ダナ・サスキンド著）

3000万語の格差 赤ちゃんの脳をつくる、親と保育者の話しかけ

3000万語の格差研究【1982～】

異なる社会経済的レベルに属する42家族を対象

- ・高レベル（専門職）グループ 13家族
- ・中度レベル（一般労働者層）グループ 10家族
- ・低いレベルのグループ 13家族
- ・かなり低い生活保護グループ 6家族

研究方法

- ・3年にわたり、毎月1度、1回1時間、観察者が親子の会話を録音し、観察ノートに記録
- ・子どもがしたこと、子どもがされたこと、子どものまわりで起きたことを分析

- 子どもたちが聞いた言葉の数（1時間） 高G 2000語 生G 600語
- 親の反応・応答（1時間） 高G 250回 生G 50回以下
- 親の言葉による承認（1時間） 高G 40回 生G 4回

3000万語の格差

赤ちゃんの脳をつくる、
親と保育者の話しかけ

ダナ・サスキンド 著
掛札 逸美 訳
高山 静子 解説
明石書店 2018.5



研究結果

生後13か月から36か月（1時間当たりの平均）

- ・高G 487の発語を聞く
- ・中G 301
- ・生G 178

上の結果を1年間に換算すると

- ・高G 1100万語の発語を聞く
- ・生G 300万語
- ・違いは1年間で800万語、3歳の終わりまでに（4年間で）**3200万語**

3歳の時点の子どもの語彙数の違い

- ・高G 1116語
- ・生G 525語　　違いは 591語彙

現実的な違い

IQ、語彙、言語処理速度、学ぶ能力、成し遂げ、成功する能力、可能性を最大に発揮する能力



IQへの影響

Intelligence Quotient (インテリジェンス・クォーシエント)

※EQ (情動指数)

- ・親が話しかける言葉が多いほど子どもの語彙は増え、3歳時点とその後のIQテストの点数も高かった
- ・発達の足を大きく引っ張っていたのは、親の『ダメ！』『ストップ！』『それ、やめなさい！』で始まったとき
- ・子どもが聞いている語彙が豊かでないと、3歳時点のIQの到達度は低かった【語彙の豊かさ】
- ・親同士があまり話さない家庭では子どももあまり話さない【家族の会話習慣】

思考や学びの基礎となる脳の神経細胞のつながりは大部分、生後3年間に起こります。科学的な研究の結果、脳の最適な発達には言葉によっていることがわかっています。

私たちが聞く言葉の数、その言葉がどう言われるかが、脳の発達の決定的な要因です。

この時期を逃したら取り戻すことはできませんから、その大切さはいくら強調してもしきれないのです。

3000万語の格差は、言葉の量ではなく「質の問題」

- ・「いい子」「そのとおり」vs.「ダメな子」「間違いだ」(高Gと他Gで圧倒的な差)
→ 自己肯定感や信念の格差 → 生きる力や学ぶ意欲の格差

*貯金箱に1円玉をたくさん詰め込んでも大した額にはならない。
100円やときに500円を入れてこそ「学費」が貯えられる。



神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世の人体実験

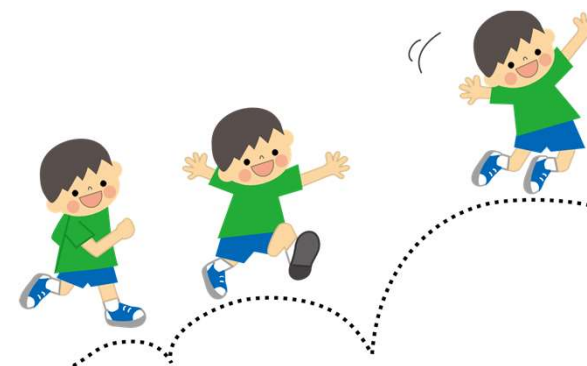
今から約800年前のこと、教育を受けていない子どもが最初に話す言葉とは何かを知るため、乳母たちに、世話をしている乳児50人に対し、**目を見ないよう、笑顔を見せないよう、スキンシップをとらないよう、何も話さないよう命じた実験**（悪魔の実験）

その結果、**全ての赤ん坊は1歳になる前に死んでしまった…**



それはいったいなぜだろう？

・アタッチメント（愛着形成） → 愛情ホルモン（オキシトシン） → 人を信じ愛する心、自己肯定感、**生きる力・意欲**



日本のフレーベル 倉橋惣三に学ぶ



泣いている子がある。涙は拭いてやる。泣いてはいけないという。なぜ泣くのと尋ねる。弱虫ねえという。

…随分いろいろのことは言いもし、してやりもするが、ただ一つしてやらないことがある。泣かずにいられない心もちへの共感である。

お世話になる先生、お手数をかける先生。それは有り難い先生である。しかし、有り難い先生よりも、もっとほしいのは●●しい先生である。その●●しい先生はその時々的心もちに共感してくれる先生である。

泣いている子を取り囲んで、子たちが立っている。何にもしない。何にも言わない。たださもさも悲しそうな顔をして、友だちの泣いている顔を見ている。なかには何だかわけも分からず、自分も泣きそうになっている子さえいる。

（「幼児の教育」昭和10年12月巻頭言）

早期英才教育や〇〇〇式教育法は**真**なりか？

巷にあふれる乳幼児を対象としたさまざまな教育法。保育所や幼稚園等でもずいぶん多彩になってきている。

代表的なのが、乳児期から英語を学ばせたり、漢字や記号のカードを次から次へと高速で見せて読ませたり、古典文学や教育勅語を唱和させたり、背丈より高いような跳び箱を跳び越えることを強いたりする教育法。

これって、子どもの発達に本当に重要な意味があるの？



『Science』や『Newton』といった国際的な科学専門誌に、**英語論文として採用されないものは科学的エビデンスが証明できていない証拠**。早期英才教育や〇〇〇〇式教育法の**ほとんどがそれに値する**。すなわち、**脳（心）の発達にとって全く意味を持たない**。反論するなら証拠を示せ！

澤口俊之（さわぐち としゆき）

高次脳機能、特に前頭連合野の研究を専門とする日本を代表する認知神経科学者。
現在は武蔵野学院大学教授。

『ホンマでっか!?TV』や『所さん！大変ですよ』等に出演中。著書多数。

澤口先生が主張するなら、ついでにこの人も！

「人が一番じっくりできる仲間の数は、子どもの頃に育った環境で決まる」

人が独りでいるときや、大事な人と一緒にいるとき以外で、一番じっくりできる人数は、実はその人がどんな環境で育ってきたかで決まる。

わいわいがやがやした賑やかな環境で育った人は、大人になってもそういう環境を好み力を発揮する。逆に少人数の環境で育った人は、そんな環境を好み力を発揮する。

子どもも同じ。**この子は大人数向きなのか、少人数向きなのかをよく見て考えて接してあげることが大切です。**



植木理恵（うえき りえ）

心理学者。現在は都内の総合病院のカウンセラーおよび慶應義塾大学非常勤講師。
『ホンマでっか!? TV』で澤口先生とは犬猿の仲？ 著書多数

植木先生から学んだ脱線トーク

「あなたは内向的、外向的、どっち？」



Question

1. あなたは自分を内向的、外向的、どっちだと思いますか？
2. 親友が病気で入院しました。あなたはいつお見舞いに行きますか？
ア、すぐに行く イ、しばらくしてから(数日たってから)行く

上の2の質問で、内向的なのは？ 外向的なのは？

内向的…心のはたらきが自分の内部に向かうこと

→ 自己中心、まわりを気にしない、自分の法則で行動する、鈍感、外交的

外向的…左の逆で、心のはたらきが自分の外部に向かうこと

→ まわりに気を遣う、自分よりもまわりを大事に考える、こまやかでナイーブ

↳ **内向的か外向的かは遺伝子レベルの問題で本質的にはそうそう変わらない。
内気、陽気、社交的…は、育った環境でつくられていく「性格」**

6 だから、保育は面白い

・井桁容子先生 東京家政大学ナースリールーム主任保育士



保育士になって現在35年になります。

いろいろな機会に「保育士とはどんな仕事ですか」と尋ねられます。

「おもしろくて、得をする職業です」と答えています。

何がそんなにおもしろいのか？まずは人と出会うおもしろさ、そして、人が成長していく様子を目の当たりにできるおもしろさです。

私が言うおもしろさは、単におかしくて笑える、という意味ではなく、子どもと関わりあう中で出会う不思議さや感動にはじまり、関わりあう困難さや、保育がうまくいかずに悩むことも含めての“おもしろさ”を指しています。

そして何がそんなに得なのか？当然のことながら、一人として同じ人間に出会わないことです。つまり、出会った子どもの数だけ学びの機会があるといえます。

『子どもに関わる仕事』（汐見稔幸編：岩波ジュニア新書）

おわりに 保育者を目指す‘あなた’に

・ 実習やインターンシップを貴重な機会にしよう

自分はどんな施設が向いているのだろうか、何歳くらいの子どもに魅かれたか、目標にしたい保育者はいたのだろうか、先生たちは元気に働いているだろうか、
→ あたりはずれはあるもの。はずれを引いた方が貴重な経験となるかも
→ 1つや2つではわからない。どんどんチャレンジしよう

・ 一流の保育者は一流の職場でなければ育たない

どうせ働くなら、いわゆる人気園やブランド園を選ぼう
→ 情報を集めじっくり考えてみよう（卒園した園にこだわらない）
→ 県外の施設に勤めるにせよ、まずは地元で実力をつけてから

・ 保育は‘未来’を創る仕事

子ども、家族、社会、そしてあなたの未来を創っていきましょう

【了】